

二〇二〇年度 自己推薦入試(後期)

中国文学科	受験番号	氏名
-------	------	----

一 次の文章を読み、後の問(問一～問七)に答えなさい。なお、設問の都合上、送り点・送り仮名を省略した部分があります。

太宗初^{メテ}即位^{キシトキニ}、中書令房玄齡奏言、秦府旧左右、未^ル得^レ位^ニ者、並^{ナラシ}怨^ム前宮及^シ齐府、左右、処分之先^ニ已^ニ。太宗曰、古称^ニ至公^ト者、蓋^ハ謂^フ平恕^ニ無^レ私^キ。丹朱、商均、子也、而堯、舜廢^ス之^ヲ。管叔、蔡叔、兄弟也、而周公誅^ス之^ヲ。故^ニ知君人者、以天下為公、無私於物。昔諸葛孔明、小国之相^{ナリ}。猶^ハ曰^ク、吾心如称、不能為人作輕重、況^シ我今理^ス大国乎。朕与^ニ公等衣食出^ル于百姓、此則人力已奉^ス於上、而上恩未^ク被^ル於下。今所以^レ斥^ス賢才者、蓋^ハ為^レ求^ル安^ニ百姓^ヲ也。用^ル人但^{シテ}問^フ堪^ハ否^ヤ、豈^ハ以新故異情。凡^ハ一面尚^ホ且^ツ相親、況^シ旧人而頓^ニ忘^ル也。才若不堪、亦豈^ハ以旧人而先用^ス。今不^レ論^ゼ其能不能、而直言^ス其嗟怨、豈^ハ至公之道^{ナランヤト}耶。

(貞観政要)

(注) ○秦府—秦王府のこと。府は、やしきのこと。太宗は天子の前は秦王であった。

○齐府—齐王元吉の府。 ○平恕—公平で思いやりがある。 ○丹朱—堯の子。

○商均—舜の子。 ○管叔・蔡叔—周の文王の子で、周公の弟。

○周公—儒教の聖人で、文王の子。 ○称—はかりのこと。

○頓—にわか。 ○嗟怨—うらみなげくこと。

問一 傍線部 a「蓋」、b「猶」、c「但」、d「凡」、e「若」の本文中での読み方を、送り仮名も含めてすべて平仮名で記しなさい。

問二 傍線部①「之」は具体的に何を指すか。内容を説明しなさい。

問三 傍線部②「知君人者、以天下為公、無私於物」は「人に君たる者は、天下を以って公と為し、物に私する無きを知る」と読む。この読みに従って送り点を施しなさい。

問四 傍線部③「吾心如称、不能為人作輕重」を現代日本語に訳しなさい。

問五 傍線部④「況我今理大国乎」を書き下し文にしなさい。

問六 傍線部⑤「豈以新故異情」「豈に新故を以って情を異にせんや」を現代日本語に訳しなさい。

問七 至公の内容として最も適当なものをア～オの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 能不能に拘わらず人材を登用する。
- イ 兄弟であっても無能なら誅殺する。
- ウ 一度会ったら旧知として抜擢する。
- エ 治世のため才能によって登用する。
- オ 庶民の怨嗟の聲に耳をかたむける。

次の文章を読み、後の問(問一〜問五)に答えなさい。なお、設問の都合上、返り点・送り仮名を省略した部分があります。

漢、元帝、宮人既多、乃令画工、画之、欲有呼者、輒披画、召之。其中常者、皆行货賂。王明君姿容甚麗、志不苟求、工遂毀為其状。

後匈奴来和、求美女於漢帝、帝以明君充行。既召見而惜之、但名字已去、不欲中改。於是遂行。

〔世説新語〕

- (注) ○漢元帝―前漢の元帝。 ○宮人―後宮の側室。 ○画工―絵師。
○披―開いてよく見ること。 ○貨賂―わいろ。 ○王明君―王昭君のこと。
○毀―ここでは、わざとひどくすること。 ○匈奴―北方の異民族。
○召見―召し出して対面すること。

問一 二重傍線部 a「既」 b「乃」 c「輒」 d「遂」 e「於是」の読み方を、すべて平仮名で答えなさい。

問二 傍線部①「志不苟求」とあるが、王明君は何を求めなかったのか、簡潔に答えなさい。

問三 傍線部②の指す内容は何か。最も適当な固有名詞を本文中より抜き出しなさい。

問四 傍線部③「後匈奴来和、求美女於漢帝、帝以明君充行」は、「後に匈奴 来たり和し、美女を漢帝に求む、帝は明君を以って行に充つ」と読み下します。現代日本語に訳しなさい。

問五 傍線部④「名字已去、不欲中改」は「すでに氏名を(匈奴に)伝えていたため、途中で改めようとはしなかった」という意味で、「名字 已に去れば、中に改むるを欲せず」と読み下します。この読み下しに従って、訓点(返り点・送り仮名)を施しなさい。

二〇二〇年度 自己推薦入試(後期)

中国文学科	受験番号		氏名
-------	------	--	----

一

問一	a	b	c	d	e
問二					
問三	知君人者、以天下為公、無私於物。				
問四	現代日本語訳				
問五					
問六	現代日本語訳				
問七					

三

問一	a	b	c	d	e
問二					
問三					
問四	現代日本語訳				
問五	名字已去、不欲中改。				